

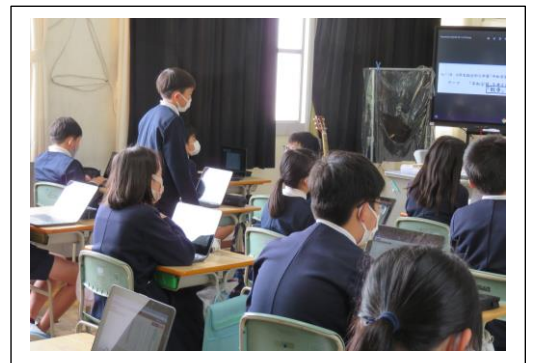
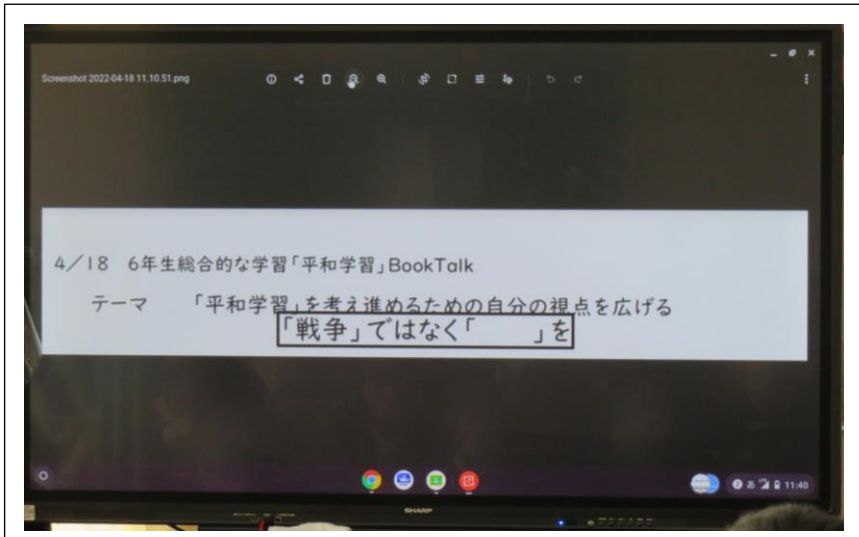


令和 4 年 4 月 2 5 日
令和 4 年度学校だより NO.3①
加古川市立平荘小学校

6 年生『平和学習』（総合的な学習）

4 月 18 日（月）に、『ビオリオトークで伝える』ブックトーク』で、6 年生が『平和学習』を行いました。『ビオリオトークで伝える』ブックトーク』は、塚本先生が行いました。

『ブックトーク』とは、テーマに沿って本の内容と書評を織り交ぜながら本の紹介をし、考えを深める活動です。4 月 18 日（月）の 4 校時、6 年生の子どもたちにとって、心に残る貴重な学習となりました。



『平和学習』Book Talk

《テーマ》

「平和学習」を考え進めるための
自分の視点を広げる
「戦争」ではなく「 」を

●みなさんは、「 」の中に、どんな言葉を入れますか？ 今日の学習では、「 」の中の言葉として「平和」という言葉は NG（使いません）です。紹介する本や友だちの意見を聞いて、自分で考えてみてください。自分の言葉として表現することが大切なことです。

●「戦争」とは何だろう。（どうなることだろう）と尋ねられると、子どもたちは、戦争とは、「人同士で争ったり傷つけあったりすること」「領地争い」「国と国とのけんか」と答えました。

●「戦争するって、どんなこと？」と尋ねられると、子どもたちは、「国のために戦うこと」とか「殺し合うこと」「敵だと言われた国の人を殺すこと」と答えました。『せんそうごっこ』の帯を読み上げ、さらに考えを広めていきました。

子どもたちの「戦争」に対するイメージを伝え合うところから学習はスタートしました。

Book List

- 『新・戦争のつくりかた』りぼん・ぶろじえくと
- 『戦争するってどんなこと（中学生の質問箱）』C.ダグラス ラミス
- 『せんそうがやってきた日』ニコラ・デイビス
- 『せんそうごっこ』谷川 俊太郎
- 『へいわとせんそう』谷川 俊太郎
- 『せかいでいちばんつよい国』デビット・マッキー
- 『わたしのせいじゃない 一せきにんについて』レイフ・クリスチャンソン



Book『せんそうごっこ』の帯には…

帯：戦争ってべんりだね。人を殺しても誰にもしかられない

Book『新・戦争のつくりかた』

の紹介を通して

- 「戦争のしかたを考えていきましょう。」と先生に投げかけられると、子どもたちからは、思わず「えっ！」と反応が返ってきました。
- 実は、『新・戦争のつくりかた』という本を通じて、戦争がどのように作られていくのかを学んでいきました。本のページを読み進めて行くにつれ、真剣な表情や困った感情、反発心が伝わってきました。
- 「この話（『新・戦争のつくりかた』）を聞いて、どこがいやでしたか？」と尋ねられると、子どもたちは、
 - ・「いい国民でないかもしれないと思った人を、おまわりさんに知らせることです。」
 - ・「いい国民でないかもと、決めつけられることがいやです。」
 - ・「町のあちらこちらにカメラが設置され、お互いに見張られていること。監視し合って急に捕まることです。相手が敵に見えて、信用ができません。」
 - ・「国民が悪い人を見つけようとしていることです。」
 - ・「カメラで監視されていることです。」
 - ・「人を殺して、逆に褒められることです。」
 - ・「憲法を書き換えることです。」
 - ・「誰かに見張られていると、信用ができないし、ストレスが溜まります。」
 - ・「反対意見を言えるようになりたいです。」
 - ・「国が決めたことに、国民が何も言えないことです。」と、発表しました。

「平和」のために行動を起こした王様

Book『せかいでいちばんつよい国』考える視点《世界が一つの国になれば平和になる？》

Book『わたしのせいじゃない 一せきにんについて』



- 『戦争がやってきた日』を紹介し、こうならないように、**みなさんは、「 」の中に、どんな言葉を入れますか？**



「戦争」ではなく「 」を

明るい空

信用

仲良し

気持ちのよい空

決めつけなし

子どもたちは、Book Talk のまとめとして、chromebook のムーブノートにじぶんの考えをまとめ、クラスの『ひろば』に投稿しました。
『平和という言葉が何を表しているか』について、しっかり考えることができました。